教育研究業績書

日付: 2021年3月1日

氏名　細沼藹芳

研究分野	研究内容のキーワード
経営学	経営戦略　経営哲学　国際経営　人的資源管理　経営管理

授業・教育向け業績

著書，学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
1.公開講座 （SBI大学院大学主催）		2016年12月	「グローバルマーケッティング」公開講座・パネルディスカッション			「グローバルマーケッティング」の公開講座において、以下のテーマでパネルディスカッションを行った。 1. 日本企業として 海外進出をはかる際に抑えておくべき強みとなる点と海外市場エリアに特徴的なニーズとその対応 2. 国際マーケティングを実現できるグローバルな人材を育てるために日本企業がすべきことは？ 3. 日本社会が国際化を実現していくために、政府や教育制度はどのように変わるべきか？
2.公開講座 （SBI大学院大学主催）		2018年1月	「経営戦略論」体験授業			戦略は必要でしょうか、戦略を立てるにはどうしたらよいか、結果を出すにはどうしたらよいかなどの内容で講義した。
3.公開講座 （SBI大学院大学主催）		2018年6月	「中国市場戦略」体験授業			中国市場へ進出するための必要な知識及び、中国におけるビジネスのヒントとなるものなどについて講義した。
4.公開講座 （SBI大学院大学主催）		2019年4月	「中国市場戦略」体験授業			中国市場へ進出するための必要な知識及び、中国におけるビジネスのヒントとなるものなどについて講義した。
5.公開講座 （SBI大学院大学主催）		2019年11月	「経営戦略論」体験授業			「複雑性、多様性の経営環境の中、経営戦略を学んで競争に勝ちたい」と思う方がいるだろう。一方、「戦略は難しい、作る時間がない、特に中小企業には関係ない」と言う方もいると思います。一体、戦略は必要でしょうか。現状を打破したい、目標を達成したい方には戦略が必要です。本日最初のポイントは戦略なぜ必要か、戦略の重要性について考えることです。
6.公開講座 （SBI大学院大学主催）		2021年2月	「中国企業論」体験授業			中国企業における従来や現代のマネジメントの特徴について講義した。

学術理論的研究業績

著書，学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
1.「近代中国企業経営における儒教文化の浸透について—華僑経営者　陳嘉庚の事例を中心に一」	単著	2016年9月	『実践経営学研究』No.8 pp.121−132			近代経営者　陳嘉庚（英名：Tan Kah Kee）を取り上げ、その経営哲学と儒教文化との関係を考察にしようとするものである。
1.「現代中国における成功企業の経営モデルを探る—華為の創業経営者・任正非の経営哲学を中心に—」	単著	2016年3月	実践経営学会機関誌（第53号） pp.17−29	○		本研究は中国を代表する巨大企業華為を取り上げ、創業者任正非の経営哲学を中心に考察したものである。
2.「儒教の観点から見た近代華僑経営者陳嘉庚の経営哲学の特徴」	単著	2016年12月	SBI大学院大学紀要第4号〔2016年〕pp.63−74			華僑実業家陳嘉庚（ﾁﾝｶｺｳ）は中国近代史に名を残している実業の経営者の一人である。彼は特に儒教の教えを尊重してきたことから、「儒商」とも呼ばれている。 本研究は近代経営者陳嘉庚の経営哲学と儒教文化との関係を考察したものである。
3.「フィンテック革命をリードする世界の有力企業」	共著	2017年7月	月刊『資本市場』No.383 pp.4−13		○	本稿は米国と中国のフィンテック企業を分析し、日本企業にとって、そこからえられる教訓を検討するものです。（担当部分：7. 世界的にも巨大な中国のフィンテック企業　pp.9−11）
2.儒家文化在企業経営中的運用−以渋沢栄一的経営理念為例」(日本語：「企業経営における儒学思想の導入～渋沢栄一の経営理念を中心に」)	単著	2017年9月	『儒学天地』中国浙江省儒学学会、2017年3期（総第40期）（浙内準字第0153号）pp.20−28		○	本稿は渋沢栄一の経営理念を取り上げ、儒教思想が現代企業に与える影響と現代意義について究明したものである。
4.「中国企業アリババの真の強みは何か一創業者ジャックマーと17人の仲間たちの経営観の分析」	単著	2017年9月	『実践経営学研究』No.9 pp.141−152			本研究においては、ジャック・マーを含む18人の創業者メンバーを対象として、18人の創業時の仲間たちのチームワーク及び経営者ジャック・マーの確固たる経営理念について究明したものである。
5.「アントレプレナーシップ教育の日・米・中比較」	単著	2017年12月	SBI大学院大学紀要第5号〔2017年〕pp.70−85			本論では、まずアントレプレナーシップ教育に関する先行研究を行う。次に日本、アメリカや 中国におけるアントレプレナーシップ教育の特徴を調べる。最後に三者の差異を考察し、アントレプレナーシップ教育の本質について考察するものである。
6.「グローバル企業・アリババの真の強みは何か— 創業者ジャック・マーの経営理念とマネジメントを中心に —」	単著	2018年6月	実践経営学会機関誌（第55号） pp.113−124			経営者ジャック・マーの確固たる経営理念と彼のカリスマ性のあるリーダーシップ、18 人の創業時の仲間たちとのチームワーク、そして彼、独特のマネジメントであると考える。 本研究は主として関連文献の考察を通して、アリババの真の強みをとらえようとするものである。
3.近江商人三方皆利（日本語：近江商人の「三方よし」について）	単著	2018年9月	『企業管理』2018年第9期（総第445期） pp.66−68 （中国企業連合会、中文核心期刊 ISSN 1003−2320）		○	本稿は近江商人の経営システムや経営理念を取り上げ、江戸時代の商業倫理を考察したものである。
7.現代中国を代表する儒商経営者にみる 経営目的と経営倫理に関する若干の考察 — 張瑞敏、任正非、馬雲の場合—	単著	2018年9月	『実践経営学研究』No.10(pp.145−155）			現代中国を代表する「儒商」、ハイアール創業者の張瑞敏、華為の創業者任正非、及びアリババの創業者馬雲の三人に着目して、それぞれの経営目的、その経営目的を支えた経営者の経営理念、および核心的価値観とマネジメントに、儒教精神がどのように浸透しているのかについて、主として文献をもとに実態を明らかにしようとするものである。
8.「中国のグローバル企業小米科技（シャオミ）に見るIoTの戦略的導入の現状と課題」	単著	2018年12月	SBI大学院大学紀要第6号〔2018年〕pp.62−71			本稿は中国の IoT 市場の現状とその特徴を述べた上で、グローバル企業「小米科技（シャ オミ）」を取り上げ、IoT の戦略的導入の現状と課題を考察する。
9.世界にはばたく中国企業にみる経営と賃金に関する若干の考察～そのフィロソフィー	単著	2019年3月	『経営の未来を拓く　賃金マネジメント研究』平野文彦　増山正紀/編著 pp.101−114			本研究は現代中国を代表する「儒商企業」、ハイアール・華為・アリババに着目して、経営者ないし創業者の張瑞敏、任正非、及び馬雲、それぞれの経営目的、その経営目的を支えた経営者の経営理念、および核心的価値観、マネジメントに、儒教精神がどのように浸透しているのかについて、主として文献をもとに実態を明らかにしようとするものである。特に、3社の企業力を支える従業員の賃金体系などの人事評価制度に焦点を当てて、マネジメントと企業文化の視点から「儒商企業」の強みを探ろうとするものである。
4. 儒家文化与企业经营—以涩泽荣一的经营理念为例（中国語論文）	単著	2019年3月	『企業儒学2018』 人民出版社 pp.159−169		○	本稿はの経営シス渋沢栄一の経営理念を取り上げ、儒家文化が経営者の経営理念に与える影響を考察したものである。
5. 現代中国の儒商経営者にみるマネジメントの特質に関する若干の考察— 張瑞敏、任正非、馬雲の経営目的と経営倫理について —	単著	2019年6月	実践経営学機関誌 No.56 pp.111−123，2019	○		本研究は、現代中国を代表する「儒商」、ハイアール創業者の張瑞敏、華為の創業者任正非、及びアリババの創業者馬雲の三人に着目して、それぞれの経営目的、その経営目的を支えた経営者の経営理念、および核心的価値観とマネジメントに、儒教精神がどのように浸透しているのかについて、主として文献をもとに実態を明らかにしようとするものである。
10.儒家・儒商文化におけるリーダーシップの考え方	単著	2019年12月	SBI大学院大学紀要第7号〔2019年〕pp.100−110			中国では、孔子の影響を受けた経営者のことを儒商とよぶ。儒商経営者のリーダーシップは、中国で近年大きな注目を浴びている。彼らは変化が激しい現代のビジネス環境において、揺るぎない経営指針を持ち、組織のメンバーを率いて組織目標を達成するように方向づけ、動機づけして組織の成果を上げていく。 本研究は、中国の儒家・儒商文化への理解から始め、儒家のリーダー観、儒商型リーダーシップの真髄について考察する。
11.ポストコロナ社会に向けて中国民営IT企業のイノベーションについて	単著	2020年12月	SBI大学院大学紀要第8号〔2020年〕pp.45−69			本稿は中国民営企業に焦点を当て、イノベーションの背景となる民営企業の発展経緯を整理する。そして、ポストコロナにおいて、急成長中のアリババのライブコマース事業の事例を取り上げて、中国型イノベーションの特徴や今後の発展方向について考察する。
12.日本百年企業理念的形成及影響	単著	2020年12月	中国経済思想史学会第19回全国大会論集			本研究は日本の老舗企業の企業理念を研究し、中国の儒家文化が老舗企業の企業理念の形成に与える影響を中心的に考察する。
学会発表						
1. 近代中国企業経営における儒教文化の浸透について—華僑経営者　陳嘉庚の事例を中心に一	学会発表	2016年9月	実践経営学会第59回全国大会（開催場所：近畿大学）			近代経営者　陳嘉庚（英名：Tan Kah Kee）を取り上げ、その経営哲学と儒教文化との関係を考察にしようとするものである。
2.「儒家文化与企業経営−−−以渋沢栄一的経営理念為例」（儒家文化よ企業経営～渋沢栄一の経営理念を例として）	国際シンポジウム	2017年6月	中国第五回全国儒商会議（開催場所：中国山西省太原市人民代表大会会議センター）			中国の第五回儒商会議にて、渋沢栄一の経営理念を取り上げ、儒教思想が現代企業に与える影響と現代意義について研究発表やパネルディスカッションを行った。
3.「中国企業アリババの真の強みは何か—創業者ジャック・マーと17人の仲間たちの経営観の分析—」	学会発表	2017年9月	実践経営学会第60回全国大会（開催場所：宮崎大学）			本研究においては、ジャック・マーを含む18人の創業者メンバーを対象として、18人の創業時の仲間たちのチームワーク及び経営者ジャック・マーの確固たる経営理念について究明したものである。
4.「BtoB電子商取引の世界的リーディングカンパニー「アリババ(阿里巴巴集団）」における賃金～その組織文化とマネジメントの分析から	学会発表	2017年10月	賃金学会第31回全国大会（開催場所：広島工業大学）			本研究はアリババの企業力を支える従業員の賃金体系などの人事評価制度に焦点を当てて、マネジメントと企業文化の視点からアリババの強みを探ろうとするものである。
5.「日本商業倫理形成」 （「日本商業倫理の形成について」）	国際シンポジウム	2018年4月	「商業倫理シンポジウム2018」 （主催・開催場所：北京大学高等人文研究院）			江戸時代における商人の教育システムに焦点をあてて、日本の商業倫理の形成や中国古典思想の影響について究明したものである。
6.「从中国古典文化中探索日本近世商业伦理的形成以及“百年企业”的经营真谛」 （「中国古典から見た百年企業経営の真髄」）	国際シンポジウム	2018年8月	「The International Confucianism Entrepreneurship　2018」 （Southern University College Malaysia）			日本の百年企業の経営倫理を着眼し、中国古典思想の角度から百年企業経営の特徴について分析したものである。
7.「現代中国を代表する儒商経営者にみる 経営目的と経営倫理に関する若干の考察 — 張瑞敏、任正非、馬雲の場合—」	学会発表	2018年9月	実践経営学会第61回全国大会（開催場所：神戸山手大学）			現代中国を代表する「儒商」、ハイアール創業者の張瑞敏、華為の創業者任正非、及びアリババの創業者馬雲の三人に着目して、それぞれの経営目的、その経営目的を支えた経営者の経営理念、および核心的価値観とマネジメントに、儒教精神がどのように浸透しているのかについて、主として文献をもとに実態を明らかにしようとするものである。
8.「中国のグローバル企業における賃金管理の基盤について」	学会発表	2018年11月	日本賃金学会第32回全国大会（開催場所：日本大学経済学部）			本研究は現代中国を代表する「儒商企業」、ハイアール・華為・アリババに着目して、3社の企業力を支える従業員の賃金体系などの人事評価制度に焦点を当てて、マネジメントと企業文化の視点から企業の強みを探ろうとするものである。
9.「日本百年企業的品牌戦略」（日本百年企業のブランド戦略）	国際シンポジウム	2019年1月	「第3回国際シンポジュウム～ブランド価値の創造」 （北京大学経済学院）			資生堂と虎屋のブランド戦略を取り上げ、百年企業の強みを分析したものである。
10.「儒家文化对日本百年企业的影响」（日本百年企業における儒家文化の影響について）	国際シンポジウム	2019年3月	「中国博鰲(ボアウ)儒商フォーラム2019」 （中国海南省博鰲ボアウ）			本研究は百年企業の「家訓」「家憲」を着目し、日本百年企業における儒家文化の影響について考察したものです。
11.「儒家・儒商文化におけるリーダーシップの考え方」	学会発表	2019年11月	実践経営学会第62回全国大会（開催場所：金沢星稜大学）			本研究は、中国の儒家・儒商文化への理解から始め、儒家のリーダー観、儒商型リーダーシップの真髄について考察する。
12.「儒家文化対日本百年企業理念形成的影響」	学会発表	2020年12月	中国経済思想史学会第19回全国大会			本研究は日本の老舗企業の企業理念を研究し、中国の儒家文化が老舗企業の企業理念の形成に与える影響を考察する。

実務的業績

著書，学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要